

◎東京都議選で自民が歴史的惨敗

安倍晋三首相の政権運営を左右する東京都議選（定数127）は2日投開票され、自民党は現有57議席から23議席に減らし、過去最低だった38議席を大幅に下回って歴史的な惨敗を喫した。小池百合子知事が率いる地域政党「都民ファーストの会」が49議席と自民党に代わり第1党となり、23人全員当選の公明党などを合わせた支持勢力で計79議席と過半数を制し圧勝した。首都での敗北は「安倍1強」体制への大きな打撃で、首相の求心力低下は必至だ。（3日）

◎「ヒアリ」大阪で女王アリ確認

環境省は、特定外来生物である南米原産「ヒアリ」が大阪南港でも見つかったと発表した。女王アリの確認は国内初。卵は見つかっていないが、女王アリは1日に千個以上の産卵能力があるとされ、同省は確認地点の周辺に毒エサを設置するとともに、規模を拡大した緊急調査を実施する方針。ヒアリは体長約2.5mmの赤茶色の有毒アリで刺されると痛みや発熱、激しい動悸（どうき）などの症状が出るほか、アレルギー性のショックで死亡することもある。繁殖能力が強く、水際対策の徹底などによる定着阻止に向けた取り組み強化が求められる。（4日）

◎大雨による「危険度分布」の運用を開始

気象庁は、同庁のホームページで大雨で河川の氾濫や住宅の浸水などが起きる可能性を地図上で表示する「危険度分布」の運用を開始した。危険度の見える化を図り、避難の判断などに生かすのが目的。大雨の危険度は、1時間先までの雨量予測から1km四方ごとに「極めて危険」「非常に危険」「警戒」など五つにランク付けし、色分けして示す。（4日）

◎J A全中次期会長候補「推薦者」に中家徹氏

J A全中は、次期会長候補の「推薦者」が、J A和歌山中央会の中家徹会長に決定したと発表した。代議員（定数251）の投票の結果、中家氏が152票で、J A東京中央会の須藤正敏会長が88票だった（有効票総数240票）。中家氏は8月10日のJ A全中臨時総会で正式に選任される。（5日）

◎改正J A S法 農水省が新たな基準案

多様な日本農林規格（J A S）の制定を可能とする改正J A S法が公布されたことを受け、農林水産省は農林物資規格調査会を開き、新たな規格の制定・見直し基準の改正案を示した。新たな基準は①品質の改善②取扱いの合理化・高度化③取引の円滑化④一般消費者の合理的な選択の機会の拡大——のいずれかに該当することとし、国際規格の動向への対応としては、国際規格との整合性の考慮や貿易への影響、既存規格の内容の重複・矛盾など11項目を挙げた。このほか、規格の拡大に対応するため、J A Sマークの見直し方針も提示。現行のJ A S表示に、「品質保証」や「特級」など認証内容を消費者が一目で認識できるような標語を、日本語と英語のいずれかで表記する案を示した。（6日）